

2010年06月25日

経営戦略トップ取材レポート

金田一

アートコーポレーション株式会社

9030 東証1部・大証1部 専務取締役 村田 省三 氏

「引越専門トップ企業から暮らし提案型の企業に成長」

決算期	売上高 (伸び率) (百万円)	7.4%	経常利益 (伸び率) (百万円)	23.2%	1株当たり 利益 (円)	239.5	1株当たり 配当金 (円)	45.0	売上高 経常 利益率	7.47%
07/09	63,597	7.4%	4,748	23.2%	239.5	239.5	45.0	7.47%		
08/09	70,253	10.5%	2,646	-44.3%	63.4	63.4	45.0	3.77%		
09/09	67,970	-3.2%	2,830	7.0%	116.4	116.4	45.0	4.16%		
10/09(予)	69,290	9.0%	3,106	-34.6%	128.3	128.3	45.0	4.48%		

※連結決算 10/09は、会社予想

業績データ

平均伸び率(直近3年間含予想)	
売上高	4.9%
経常利益	-4.7%
自己資本比率	35.2% (10/03)

売上構成(09/09)

引越事業	68%
輸入車販売事業	4%
国内物流事業	9%
住宅関連事業	14%
その他の事業	5%

株価データ

予想EPS参考株価	1,525 円(-4.5%乖離)
株価	1,384 円(10/06/25)
PER	11.9 倍(10/06)
PBR	0.9 倍(10/06)
年初来高値	1,510 円(04/15)
安値	1,290 円(05/21)



村田専務

出所：KCR 総研



アートコーポレーション株価チャート

出所：Yahoo! ファイナンス

引越専門トップ企業としてのブランドを築く

アートコーポレーション株式会社の前身は1968年に創業した寺田運輸である。1976年に本格的に引越業に進出し、翌年には寺田運輸とは別に同社を設立、現社長の寺田千代乃氏が代表取締役に就任した。「人々の暮らしを運びたい 暮らしに役立つ安心・安全・清潔なサービスを届けたい」がコンセプトであり、当初から引越を運送業とはとらえず、サービス業として考え貫いてきたところに同社のブランド力がある。こうした姿勢は、個人だけ

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考えられる情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR 総研がその正確性を保証するものではありません。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。内容に関する一切の権利はKCR 総研にあります。事前の了承なく複製または転載等を行わないようお願いします。

ではなく法人からも高く評価されており、転勤異動など法人シェアが高いのも特長の一つである。現在、引越専門企業としてトップの規模を誇っている。主要セグメントは、引越事業のほかに国内物流事業、住宅関連事業、輸入車販売事業、その他事業に分けられる。国内物流は、主として家電や家具の配送を請け負っている。取引先上位には、三洋電機ロジスティクスやニトリ、近鉄エクスプレス、ダイキン工業関連、シャープなど優良顧客層が並んでおり、同社物流の信頼の厚さを物語っている。住宅関連事業は、主としてマンション分譲を手がける。大阪府、兵庫県、東京都で展開するが、主たる目的はデベロッパーとの関係構築による引越事業とのシナジー効果を狙っている。また、輸入車販売を手掛けるが、これはもともとトラックのメンテナンスとして活用していたピットを活用するために始めた事業である。近年は並行輸入のメリットも薄れ縮小傾向にある。その他事業としては、物販事業と保育事業があげられる。中でも保育事業は、保育所運営並びに各種家事支援サービスを手掛けるが、近年、保育所不足から急成長している分野である。

引越事業から成長分野へ力を入れる

現在、同社の引越事業のポイントはシェアの拡大に置かれている。今第2Qにおいて、同社開示資料によれば、引越事業上位4社（ヤマトホールディングス、日本通運、サカイ引越センター、同社）を合計した売上高規模は183,249百万円であり、そのうちの26.4%が同社のシェアとされている。5期前のシェアは、21.3%であったから、ここ5年で5ポイント近くシェアを上げていることが見てとれる。今第2Qにおいても法人チャンネルの拡大が寄与しシェア拡大に成功している。しかし、中長期的には引越事業は、少子化・人口減少や閉塞気味の景気環境下にあって企業のコスト削減意識も強いため、単価は下落傾向にある。同社では、競争激化に伴う単価下落を取扱件数の拡大で補うが、収益的には改善余地はあるものの売上高的には頭打ち傾向にあるのが現実である。そこで、同社は、各事業のポートフォリオを見直し、成熟する引越市場を中核とする「暮らし方を提案する企業グループ」として暮らしにかかわるあらゆるサービスを提供する企業に成長資金をより振り分けようとしている。

ライフサポート分野でアートチャイルドケアブランドを確立

その要といえるのが、グループ全体からみた規模は、まだ小さいものの成長が見込まれるその他事業である。同社では、その他事業をライフサポート事業と命名し、本格的成長分野として注力している。2005年にスタートした同分野は、「働く女性を応援したい」気持ちから活動を拡大してきた。2007年に主として企業・病院を支援する保育施設を運営するコティ、子育てファミリーを支援する認証保育グレースを買収し、保育事業に本格参入を

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考えられる情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR 総研がその正確性を保証するものではありません。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。内容に関する一切の権利はKCR 総研にあります。事前の了承なく複製または転載等を行わないようお願いします。

果たしている。この度「アートチャイルドケア」として新ブランドに統一し、本格ブランド展開に入っている。現在の特徴としては、24 時間対応の病院内保育が中心を占めており、10 年 4 月現在の 112 園のうち 72 園と 64.2%を占めている。保育士約 1000 名、児童数 2500 名規模であり、運営拠点規模的には我が国で 2 番目の水準を誇っている。厚生労働省の資料によれば前年 4 月 1 日現在の待機児童数は 25,384 人と保育所不足は深刻な社会問題と化しており、同分野は確実に成長が望める分野でもある。同社では、人材の質と量の確保に注力する一方、更なる M & A により積極的に拡大を図る考えである。

また、CSR にも積極的に取り組んでおり、環境への意識は極めて強い。引越のゴミゼロ化を目指すエコ楽ボックスなどのアイディアは、同社ならではのサービスであり、エコドライブの実施や 2010 年 2 月には本社屋にソーラーパネルを設置し、地域社会への環境メッセージを配信している。株主還元も手厚く安定的に配当を実施しながらも柔軟な配当を目指す方針で、今期は 45 円配当を予定している。最低 100 株以上で 3500 円のカタログギフト便が選べる株主優待も実施しており、現状優待も合わせた実質利回りは 5.8%と極めて高くなっており、中長期的に保有しがいのある株価水準となっている。

まとめ

インタビューをまとめると以下のようになる。

- 創業当初から引越事業をサービス業と捉え、法人シェアが高く業界トップのブランド力を有している。
- 暮らし方を提案する企業として引越事業を中核に物流やライフサポートなどの周辺事業も展開している。
- 引越市場は成熟市場だが、取扱件数の増加で着実にシェアを伸ばしている。
- 保育園を運営するライフサポート事業を成長の中核に据える。運営拠点は、我が国で 2 番目の規模を誇っており、人材育成に注力し、更なる M & A も実施する考えである。
- 株主還元は安定的かつ柔軟に取り組む。株主優待も加えた実質利回りは、5.8%と極めて高い水準で推移している。

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考えられる情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR 総研がその正確性を保証するものではありません。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。内容に関する一切の権利は KCR 総研にあります。事前の了承なく複製または転載等を行わないようお願いします。